



「第37回障害者福祉大会

・障害者フェスティバル2013」を開催

～障害者週間（12月3日から9日）の記念事業～

と き	12月7日（土）障害者福祉大会 : 午前10時～10時50分 障害者フェスティバル : 午前10時～午後3時
ところ	光が丘区民センター（光が丘2-9-6）、光が丘公園ふれあいの径

7日、光が丘区民センターで第37回障害者福祉大会が開催され、地域で活躍している障害のある方や障害者福祉の向上に寄与した方9名が表彰され、志村豊志郎練馬区長から、一人ひとりに感謝状や褒状が手渡された。表彰された男性の一人は、「障害者への相談活動だけでなく、障害者への理解が深まるような啓発活動を続けていきたい」とコメントした。

また、光が丘区民センター、都立光が丘公園ふれあいの径では障害者フェスティバル2013が開催された。合唱やダンスなど日ごろの練習の成果が披露されたほか、ビーズ製品やクッキー等自主製品の販売も行われ、親子連れなど多くの来場者でにぎわった。笑顔でやり取りをしている方は「フェスティバルをきっかけに、いろんな人に会えて楽しませてもらっています」と話した。

フェスティバルの会場にはゆるキャラのねり丸も登場して、記念撮影で大人気！！



表彰式の様子



模擬店での様子

【第37回障害者福祉大会】

障害者福祉大会は障害者週間に毎年開催されている。練馬区在住在勤で地域において活躍している障害のある方や、障害者福祉の向上に寄与した方を表彰するのが目的。区や区議会、各障害福祉団体の代表者ら約150名の出席者が祝福した。

【2013障害者フェスティバル】

障害のある方に対する理解や認識を深めることを目的に、1982年(昭和57年)から毎年障害者週間に合わせて開催され、今年で32回目。今年のテーマは、『地域に広がり、みんなの絆！』。

この日は、午前10時になると、会場はフェスティバルを楽しみにしてきた家族連れや地域住民でにぎわった。光が丘区民センター内では、ミュージカルや歌に合わせた踊りなどの舞台発表、事業所の活動の様子のパネル展示や陶芸品などの力作が並び、訪れた方は足をとめ、作品に見入っていた。

「ふれあいの径」では、焼きそばや温かいスープなどの店と共に、障害者が施設で作成したビーズ製品などを販売する店など45団体が出店。手作りの自主生産品は他では手に入らないため、それを目当てに来場する方も多い。

【問い合わせ】健康福祉事業本部福祉部障害者施策推進課管理係 電話 03-5984-4598